様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒270-233

住　所　千葉県野田市船形1573-4

氏　名　曽田香料株式会社　野田支社
野田支社長　岡田　博之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　04-7129-6111

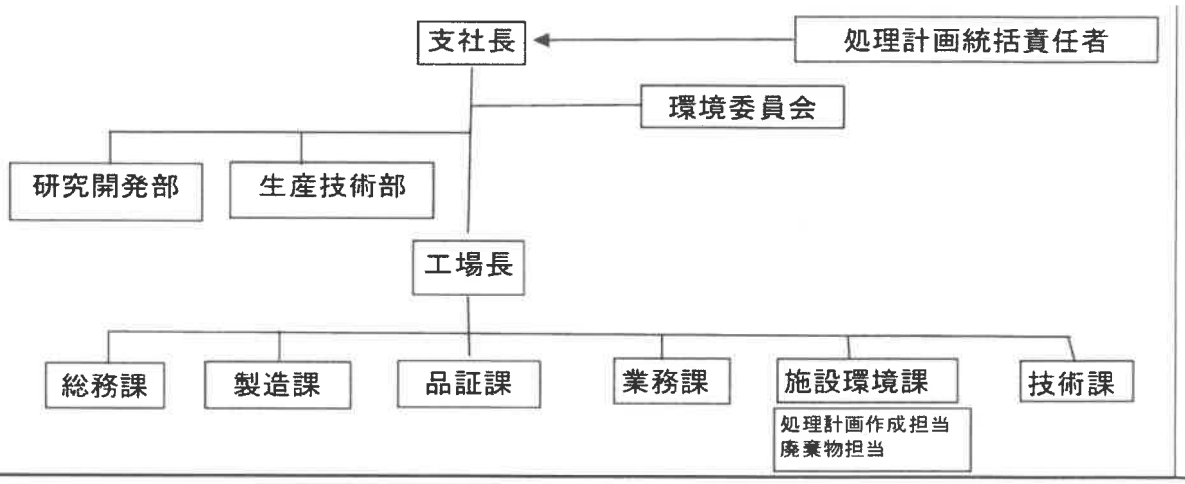
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	曽田香料株式会社　野田支社
事業場の所在地	千葉県野田市船形1573-4
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	E16－化学工業
②　事業の規模	前年度の製造出荷額　2,337百万円
③　従業員数	103人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1の通り

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙-2, 3の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 合成香料製造工程より排出された副生廃油（釜残）は、流動性が悪いため、従来は全量を中間処理業者にて焼却処理していた。この副生廃油（釜残）の流動性を高めるため別の廃油を混合したことで、燃料として使用できるようになり、助燃剤としてリサイクルできる中間処理業者に委託し、排出量を抑制させた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙-2, 3の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 廃油（釜残）は引き続き流動性を高めた廃油にし、助燃剤としてリサイクルする中間処理業者に委託、排出量を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄する生産機械などについて、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類等に分別して処分している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の分別作業を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別紙-2, 3の通り	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 無し		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙-2, 3の通り	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別紙-2, 3の通り	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 活性汚泥処理における余剰汚泥は、自社脱水機にて脱水し減容している。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙-2, 3の通り	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 引き続き汚泥は減容に努める。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別紙-2, 3の通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことは無い。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙-2, 3の通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことは無い。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別紙-2, 3の通り	
全処理委託量_	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

排水処理から排出する汚泥は、発酵堆肥化中間処理業者に委託。廃油は熱回収、再利用又は、助燃剤として資源化している中間処理業者に委託している。廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類は、再生利用出来る物は、固形燃料化する中間処理業者に委託。廃アルカリの一部は溶融し貴金属の回収及び路盤材としてリサイクルしている。委託先は、優良認定処理業者及び再生利用業者が中心。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙-2, 3の通り	
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 優良認定処理業者、再生利用業者及び認定熱回収業者を中心に委託処理の予定。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

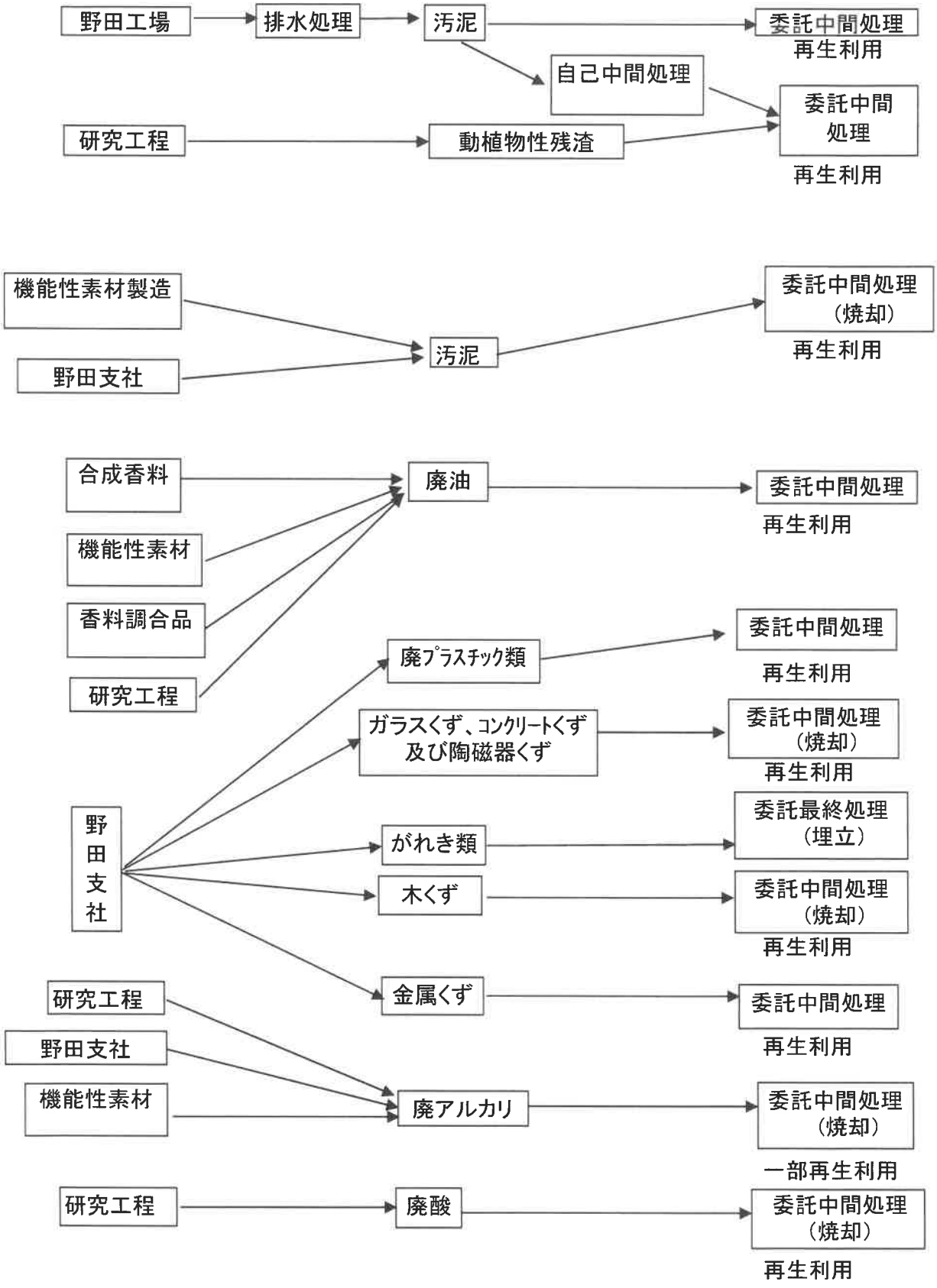
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙-1

④産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
		排　出　量	2,783.428 t	56.351 t	0.3 t	124.35 t	8.36 t	3.495 t	0.83 t	3.14 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
		排　出　量	2,700 t	50 t	0.2 t	120 t	8 t	3 t	0.5 t	3 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2578.197 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2500.93 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
	全処理委託量	205.23 t	56.351 t	0.3 t	124.35 t	8.36 t	3.495 t	0.83 t	3.14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.2 t	56.351 t	0.3 t	124.35 t	2.25 t	3.495 t	0 t	1.08 t
	再生利用業者への処理委託量	205.23 t	6.401 t	0.3 t	124.35 t	0.44 t	3.495 t	0 t	3.14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	49.95 t	0 t	0 t	1.46 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	6.46 t	0 t	0.83 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート類・陶磁器くず	木くず	金属くず
	全処理委託量	199.07 t	50 t	0.2 t	120 t	8 t	3 t	0.5 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.16 t	50 t	0.2 t	120 t	2.15 t	3 t	0 t	1.03 t
	再生利用業者への処理委託量	199.07 t	5.67 t	0.2 t	120 t	0.42 t	3 t	0 t	3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	44.32 t	0 t	0 t	1.39 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	6.19 t	0 t	0.5 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず (水銀使用製品)	汚泥 (水銀含有煤塵)	廃プラ (石綿含有)	がれき類			
		排　出　量	0.32 t	0.067 t	0.0007 t	2 t	2.63 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず (水銀使用製品)	汚泥 (水銀含有煤塵)	廃プラ (石綿含有)	がれき類			
		排　出　量	0.3 t	0.05 t	0 t	1 t	2 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず (水銀使用製品)	汚泥 (水銀含有煤塵)	廃プラ (石綿含有)	がれき類			
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず (水銀使用製品)	汚泥 (水銀含有煤塵)	廃プラ (石綿含有)	がれき類			
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず (水銀使用製品)	汚泥 (水銀含有煤塵)	廃プラ (石綿含有)	がれき類			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず (水銀使用製品)	汚泥 (水銀含有煤塵)	廃プラ (石綿含有)	がれき類			
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず（水銀使用製品）	汚泥（水銀含有煤塵）	廃プラ（石綿含有）	がれき類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず（水銀使用製品）	汚泥（水銀含有煤塵）	廃プラ（石綿含有）	がれき類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず（水銀使用製品）	汚泥（水銀含有煤塵）	廃プラ（石綿含有）	がれき類			
	全処理委託量	0.32 t	0.067 t	0.0007 t	2 t	2.63 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.067 t	0.0007 t	0 t	2.63 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.32 t	0.067 t	0.0007 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	ガラスくず（水銀使用製品）	汚泥（水銀含有煤塵）	廃プラ（石綿含有）	がれき類			
	全処理委託量	0.3 t	0.05 t	0 t	1 t	2 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.05 t	0 t	0 t	2 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.3 t	0.05 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t